

さぬき

《発行元》 社会福祉法人弘善会 児童養護施設讃岐学園

〒761-0322 香川県高松市前田東町569-2 TEL (087)847-5171 FAX (087)847-5173

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp/> e-mail sanukigakuen@kouzenkai.jp

[題字] 真言宗善通寺派管長 櫻原禪澄 大僧正猊下



昨年の今頃は、療養休暇中でした。

昨年、1月早々、子どもたちと学園のグラウンドでサッカーをして、ボールの奪い合いで負けるものかと力が入り、転んで肋骨を骨折。そして、10月の体育の日に、子どもたちとグラウンドでかけっこのリレーをして、前を走る子どもには負けたくない、負けたらどんな風にかかわれるかと思い、またしても力が入り、しかし足はついていかず、もつれて前のめりに転び左鎖骨をまたしても骨折。生まれて4回目の骨折であり、自分で肩を少し触れただけで、すぐに骨折とわかったのは流石というか、情けない。

結局、2か月間、鎖骨骨折バンドで固定し自宅療養とあいなり、孫ほど年の離れた子どもたちにムキになって勝負したのが大きな間違いと深く反省いたしました。

10月、11月は、学園まつり等の行事や諸会議があり、週に一度は出勤していましたが、子どもたちは私の出勤を見つけ「あ！園長や」と駆け寄って来て、心配顔で「骨治ったん？痛いん？」と多くの子どもたちから何度となく、ねぎらいの声をかけてもらいました。また、「早く治ってね」とかわいい励ましのお手紙を書いてくれた子もいました。普段は、悪口を言い合ったり、けんかばかりしている子どもたちですが、ほんとうに心根の優しい子どもたちばかりです。子どもたちの優しさと励まして怪我もすっかり治りました。

今後は、ムキになって勝負せず、今も時々している室内の卓球、ピンポン程度の軽い運動にしようと思っています。でも卓球は、まだまだ子どもたちには負けないぞ。

さあ、いざ、勝負！勝負！

園長 藤井 敏孝

フ ロ ア 紹 介

讃岐学園では子ども達の成長や環境に合わせ、生活空間を4つのフロアに分けています。現在、幼児寮・男子フロア・女子フロア・小規模寮としていますが、29年度には幼児寮から幼児・学童グループ寮になったりと、その年その年の子どもたちの状況に合わせて、柔軟に対応していきたいと思っています。どのフロアも明るい子どもたちのおかげで個性豊かな楽しいフロアになっています。毎日の生活の中で、色々なことがあります、そこは讃岐学園！子ども達と職員ともに一緒に泣き、笑いながら成長したいと思います。今回、各フロアの様子を担当職員より紹介します。

幼 児 寮



新生幼児・学童グループ寮として今年の四月からスタートしました。大きい子が小さい子の面倒を見てくれ、小さい子も年上の子を見て互いに気遣いながらの生活でした。しかし、次第に生活の中で幼児に手を取られ、なかなか学童の子どもたちに「手間」をかけ、かかわることが十分にできずにいたということが大きな反省点です。生活スタイルの違いから幼児、学童それぞれがストレスを抱えて生活をしていたということも事実であり、これから行われるユニット化に向けての課題でもあります。子どもの意見を吸い上げ、思考錯誤し、これからやっていかなければなりません。

幼児寮として再スタートを切り、昨年までよりも少人数で更に我を發揮し、ややこしい毎日です。男児と女児で居住スペースを分け、また一時保護やショートステイの子どもの利用時の居室もできる限り分け、普段の生活が大きく崩れないようにとの思いがある中、理想と現実とのギャップもあります。食事はリビングで幼児だけで摂るようになり、子どものニーズに今までよりも応えやすくなりました。

毎日一緒に流れや生活ではなく、天気の良い日は外に出て身体を動かし、休みの日は極力園外に出て公園に行ったり、買い物をしたりして様々な経験ができるように工夫をしています。しっかり身体を動かすことで丈夫な身体を作り、よく食べ、よく寝るといい良い循環に結びついています。

生活の中では、ついつい子どものやっていることに口を出したり、先回りして手を差し伸べてしまいがちですが、子どもたちの自発的な行動や、やってみよう！という気持ち、失敗体験も大切にするように心がけています。できたこと、できるようになったことを共に喜び、共感し、それをまた振り返り、子どもたちと一緒にのびのびとした生活を送っていきたくと思っています。

幼児寮 児童指導員 香西 淳志

男子フロアは小学生十一名、中学生二名の計十三名のパワフルな子どもたちと、子どもたちに負けないぐらい、元気な職員五名で毎日楽しく賑やかに過ごしています。

そんな男子フロアの今年度の目標は「①自分にも相手にも思いやりの気持ちを持つ。②生活力を身に付けよう。③苦手意識を持たず、いろいろな運動や勉強に挑戦しよう。」です。毎日、本当に些細な理由で次から次へと喧嘩が起こっている状態ではありますが『喧嘩するほど仲がいい』という言葉があるように、さっきまで喧嘩をしていたはずなのにいつの間にか仲良く遊んでいる姿をよく見かけます。①の目標のように相手に思いやりの気持ちを持つには、まずは自分を大切にし、そして自分を好きになる必要があります。そのため職員が子どもたち一人ひとりの自尊心を育めるようなかわりや声掛けを積極的に行いこうと心掛けています。②については、社会性を身に付けるために今年の夏休みは公共交通機関を利用したフロア外出を行いました。普段から電車を使用することがないので、ワクワクドキドキしながら切符を購入したり、電車の中から見える風景に興奮したりと子どもたちにとって思い出に残る外出となりました。その他にも休日の時間がある時におやつ作りをするなど調理をする機会を設け、少しずつ自分たちで出来ることを増やしていけるようにしています。社会に出て困らないように、公共の場での言動、歯磨きや洗顔等の基本的な生活習慣の確立、相手との距離の取り方等を生活の中で身に付けられたらなと思っています。

③においては、小学生は相撲を習ったり、マラソン教室に通ったりと一人ひとりが自分の強みになるものを見つけられる機会を設けています。何に対しても苦手意識の強い子が多く、少しでも自信が持てるものが見つかるように、子どもたちに寄り添って職員はそれを応援していきます。

今年度はこの三つの目標を掲げ、十三名の子どもたちと職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

男子フロア 児童指導員 川口 晴美

男 子 フ ロ ア



女子フロア

女子フロアは、小学生九名、中学生七名、高校生三名のとても賑やかで明るいフロアです。今年度、女子フロアは「思いやりを大切にしよう」「生活力を高めよう」「学習習慣を定着させよう」の三つを目標にして日々奮闘しています。女の子が多く、喧嘩やトラブルなど色々ありますが、子どもたち同士で「どうすれば良いかなあ。」「こんな風に言ったら良いのかな?」と話し合い、時には職員が入り解決方法を見つけ、お互いが気持ちよくフロアで生活できるようにしています。……?と日々考える機会を持つようになっています。一人ひとり子どもたちが、あったかい気持ちで過ごせるようにするには、買い物に行き料理を作ったり、おやつ作りをしたりと：当り前にする生活経験の積み重ねを少しでも持てるようにしています。最後の学習習慣については、学習時間を意識的に設け、子どもたちに学習する意識がつくようにしています。子どもたちが興味を持って取り組めそうな学習方法も試しながら、楽しみながら学習に取り組めるように工夫しています。

人数が多く、また、年齢層も幅広く、毎日、上手いくことばかりではありません。しかし、一番大切にしていることは、運動が得意な子、お菓子作りが好きな子、歌うことが好きな子など、一人ひとりの「強み」を見つけ、力を伸ばしていけるようにすることです。

ある日の女子フロアの日常の一幕ですが、朝、学校に登校した子どもたちは下校するなり「ねえねえ、話聞いて。」「こんなことがあった。」「と一日の出来事をひとしきり職員室に来て話をします。職員の「おかえり。」「という挨拶が終わらないうちに、あふれんばかりの思いを話す子どもたち。子どもたちが今感じている思いや気持ちを受けとめ、思いを形にしながら、共に子どもたちと歩めるフロアになりたいと思っています。

女子フロア 保育士 笹田 若子

学園敷地内の西側に七LDKの建物があります。それが小規模グループ寮です。六人の子どもと三人の職員が暮らしています。朝の風景、一番早いのは遠方の中学に通う男子、朝がとつても苦手、職員は何度も起こしに行きます。返事をして半身起き上がるのにまた寝てしまい、最後にはきつい声掛けになります。次は小学生の女の子、朝から食欲旺盛、パンでもご飯でもいいっばい食べます。「前髪留めてね、雨が降りそうだから傘持って行ってね」など声かけます。中学生女子も起きてきて、さっさと準備すると録画してあった韓流ドラマを観ています。

最後は高校生、男子は前夜遅くまで勉強しているとボーツとしています。ご飯は大盛、職員の作った弁当に夏場は保冷剤をたくさん入れ水筒にお茶も入れ自転車で登校。女の子は手際よく自分でお茶を詰め、丁寧に髪をまとめて登校。出たと思ったら忘れ物をして戻ってくるがよくあります。自転車と電車とまた自転車を乗り継いで学校へ行きます。

全員登校するとやれやれです。職員はその後は掃除や洗濯、居室の窓を開け、風を通し、布団を干したりします。居室の様子からも子どもの変化をつかんだりします。小規模寮は「普通の家庭にできるだけ近い形で」を目指して子どもたちの養育をしています。今は中高生が多いので、日中は小学生と一緒に宿題をしたり、おやつや夕食の準備をします。夜になると中高生がやってきて深夜まで話し込むことがあります。一人ひとりに向き合い、それぞれの可能性を探っています。勉強が得意な子、たくさん本を読む子、スポーツが得意で学校代表になる子、部活に励む子、習字教室に通う子がおり、みんなのびのびと成長していつてほしいと職員は願っています。

小規模グループ寮 児童指導員 相原 真知代



ドレミ サポーター（里親支援機関）からのお知らせ

讃岐学園は里親支援機関として、児童相談所や、里親会、県内の児童養護施設や乳児院と共に里親啓発やサロンの開催などの活動を行っています。『里親』に興味のある方は、ぜひ一度、お近くの児童相談所にお問い合わせください。また、讃岐学園でも里親支援専門相談員の桑島が対応させていただきます。お気軽にお電話ください。また、施設の子どもたちに外出や外泊を体験させてくれる『週末ファミリー』も募集しています。

- | | |
|-------------------|------------------|
| ○香川県子ども女性相談センター | TEL 087-862-8861 |
| ○香川県西部子ども相談センター | TEL 0877-24-3173 |
| ○讃岐学園・桑島里親支援専門相談員 | TEL 087-847-5171 |



～ 28・29年度行事 特集 「遊ぼうデー」～

讃岐学園では大きな行事がない月は毎月大人も子どもも皆で遊ぶ「遊ぼうデー」を行っています。普段学校や部活、塾など、また大人もみんなが揃う日はなかなかないので、この日はそれぞれ持ち回りで企画し、フロアを超えて一緒に一つの事を楽しむ素敵な日です♪幼児から高校生、そして職員も全力で楽しんでます(^_^)今回はここ1年間の遊ぼうデーをご紹介します♪

28年度



10月は「秋のマラソン大会」秋晴れの空の下、思いっきり走りました！
幼児は園長と一緒に♪

11月は「学園まつり」子ども達もお手伝い！
たくさんの方々のご支援、ご協力の下、とても楽しい一日になりました。
ありがとうございました。

12月は「クリスマス会」
サンタさんがとっても素敵なケーキやご馳走を持ってきてくれました。学園のサンタさんから素敵なプレゼントも♪

1月は「ちゃんこ鍋会」それぞれのフロアで希望の具材を用意してちゃんこ大会。
寒い日は皆であっただかい鍋がおいしいね(^◇^)

3月は卒園式。
28年度は2人の男子の卒園を皆で祝いました。
新しい世界に進む背中はとても頼もしく見えました。
頑張れ～！皆で応援してるよ(^◇^)

2月は「なわとび大会」
個人記録とフロア対抗長縄跳びもありみんなで声を合わせてジャンプ！



29年度



4月は花見(〇〇)
 今年は「高松東ロータリークラブ」の皆様と「綾川町さめきうどん研究会」の皆様が慰問に来てくださりおいしい打ち込みうどんと巻きずしを頂きました。みんなで外で一緒に食べて大満足の子ども達です。



5月は恒例の「讃岐学園マラソン大会！」学年別のマラソンに、フロア対抗リレーでとても盛り上がりました!(〇〇)! 職員もまだまだ子ども達に負けてられません!



6月は「一日園長行事」今年「株式会社ルーヴ 専務取締役 野崎幸三様」を一日園長先生に迎えて、パティシエのお仕事について教えて頂きました。お話の後はルーヴの皆さんとロールケーキ作り!(〇〇)!パティシエの服に着替えて、おいしいロールケーキを作りティーパーティー



7月・8月はみんなで1泊旅行♪ in高知。スポーツ大会に参加し、大きな旅館でみんなで宿泊(〇〇)おいしい夕食に大きなお風呂。次の日は高知名物のカツオのたたきを頂き、スイカやメロンも食べて動物園にも行ってきました!



9月は「香川県露店商業協同組合」の皆様が慰問に来てくださりお祭りに! くじやスーパーボールすくいやおいしい屋台の食べ物がたくさん(〇〇)毎年、ありがとうございます!

< 権利擁護と苦情への取り組み >

子どもとの信頼関係をより一層深め、権利擁護意識を醸成するため、職員会議の冒頭に「全国児童養護施設協議会倫理綱領」を読み合わせ、FE会（子ども自治会）を定期的に行うなど、子どもの権利擁護と職員の意識向上に努めました。

いつでも、どこでも気軽に相談ができるよう、幼・小・中学校教諭を苦情解決第三者委員に委嘱して、「悩み相談、安心、なんでも受付箱（苦情箱）」を寮玄関、各階談話室等に設置するとともに、子ども女性相談センターなどの連絡先を掲示し、相談機関を周知しました。

平成28年度は、内容的には、施設内の子ども同士の悪口とか、いやがらせ、口論などの訴えが多く、女の子からの投稿がほとんどでした。また、要望の中で「家に帰りたい」「家族に会いたい」などがあり、子ども女性相談センターのワーカーとも連絡を取りながら、子どもの意見・要望に傾聴し、家族にもその気持ちを伝える。引き取りにつながったケースもあった。

内 容	対 応 と 結 果	件数
○ 友だち関係 ・ いじめ ・ 悪口 ・ いやがらせ ・ けんか（暴力）	・ 職員が当事者どうしの中に入って話し合う。 ・ 職員が本人と話し合う。	5 5
○ 職員との関係 ・ 職員からの関わり合いがうっとうしい。	・ 職員と当事者でよく話し合う。	1
○ 要望 ・ 家でくらしたい。 ・ 家に帰りたい、家族と会いたい、家にもっと帰りたい。	・ 本人の気持ちを聞き、園長とも話し合いをする。 ・ センターのワーカーと話し合いの時間をもつ。 ・ フロアーの職員とも話し合い、解決方法を考える。	3
○ その他 ・ 育成会に参加して疎外感がある	・ 職員会で地域との関わり合いについて職員の意見を一人一人聞く。園として地域との関わり合いを大切にしていく。	1

※小学生女子からの相談・苦情がほとんどで、男子からの相談・苦情がない。男子はその場で口頭で話すことがほとんどで、「苦情の用紙」に書くことがない。



新しい学園の職員を紹介します



昨年八月より、心理療法担当職員として入職しました山地 麻郁と申します。

学生時代、讃岐学園入所児と机を並べたこともあり、私自身にとって学園は馴染み深いところでした。ご縁があり働かせて頂くことになり、感慨深く感じております。

学園において、日々子ども達の支援にあたるのは現場の職員さん方です。心理職は、子ども達の抱えている想いや問題を少し違つた角度からアプローチすることにより理解し、それを支援に活かして頂く。これが私の役割だと思っています。まだまだ経験・勉強共に浅く、その役割を全うするまでには到底至っていませんが、皆様のお力を借りながら自己研鑽に励んでいく所存です。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

今年四月より讃岐学園・幼児寮で保育士として入職させていただきました、久保江真弓と申します。昨年、讃岐学園で月に一回程度ではありますが、保育ボランティアとしてお世話になっており、子どもたちとのふれあいは私を元気にさせてくれました。

いつか讃岐学園で働けたらと思っていたので、お話をいただいた時はとても嬉しく、同時に、身が引き締まる思いでした。

入職して六カ月が経ち、まだまだ手探りの状態です。いろいろな表情をみせつつ全力でぶつかってくる子どもたちとのかわりについて悩む日々ですが、悩んでは相談できる先輩方の存在はとても大きいです。

先輩に教えていただき、学びながら、子どもたちと真正面から向き合い、ともに成長していけたらと思っています。

未熟者でご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

多くの方々のご厚志に深く感謝いたします。（平成28年4月～平成29年3月）

敬称略

（寄付）

ダイハツ販売労働組合連合会、平和祈念活動部風騎会、高橋國光、有限会社山地青果、旭商工株式会社、西本雅生、高松市赤十字奉仕団川添分団、三和エコ&エナジー株式会社、三和電業株式会社高松支店、漆原社会福祉士事務所、株式会社R・Life、香川県露店商業協同組合、東町本若、小豆更生保護女性会、友兼毅、株式会社キョウエイ水産、長崎第二地区民生委員児童委員協議会、小川あつ、稲田正三、高松中央ライオンズクラブ、カワゾエ衣料センター、自衛隊香川地方協力本部高松募集案内所、有限会社完土、高松グリーンロータリークラブ、木村万里子、乃万由佳、白鳥太鼓前田同好会、岡崎吉隆、高松空港ライオンズクラブ、高松前田郵便局、前田地区民生委員児童委員協議会、黒川商店、神原博、聖綾建設株式会社、高松キワニスクラブ、平井一也、平井寿子、四国遊技機商業協同組合、香川県理容生活衛生同業組合高松支部理容ボランティアグループ一同、安部勝久、ハシビロ屋、高橋石油株式会社、高松市赤十字奉仕団、有限会社辻造船鉄工所、やしま第一健康ランド、神内絹代、公益社団法人高松青年会議所、株式会社高松産業廃棄物センター、株式会社坂出自動車学校、高松東ライオンズクラブ、前田校区交通安全母の会、香川県立高松東高等学校陸上部、黒田良治、浅野八王子八幡神社、佐々木一子、マスウド・ソバハニ、笠井真一郎、自立支援センター圓、黒田實、株式会社日光商事、愛染興業株式会社アイゼン片原町店、清滝山栄光寺池田宗弘、ギャップジャパン株式会社コーポレートコミュニケーションズ、グループホーム実の里、株式会社たまや、岡井洋、多田博文、株式会社松本光春商店、神内順子、武井秀生、藤井敏孝、高松東ロータリークラブ、古川博司、無名会、木村医院、フードセンター小西、香川県自衛隊父兄会、秋山有希子、中国アイスクリーム協会、藤澤吉久、岡井勲、本藤貴則、タリーズコーヒージャパン株式会社マーケティング部本部、株式会社ステーションクリエイト東四国、総本山善通寺、谷本将勝、石原憲一、有限会社ダスカジャパングアウテモック、フジユニオン、カーブス、東照寺、株式会社クレヨンハウスmorimotoプロジェクト、高松共同募金委員会、青木淑郎、地方紙正月連合、四国新聞社、四国電力労働組合香川県本部、高松信用金庫元山支店、川井郁子、合田商会代表合田裕信、加藤秀義、吉田孝平、リュドラ・ポム大黒道子、渡辺久子、株式会社アパマンショップネットワーク、有限会社たも屋、高松守成クラブ、三越伊勢丹グループ労働組合高松三越支部、株式会社マルナカ三木店、JROB会女子部会、株式会社マキタ植田實、株式会社サニクリーン四国高松支店、楽天株式会社、トレジャーワン・アッカ、株式会社エフ、株式会社ルーヴ、ワールドメイト、伊藤恭子、日本鏡餅組合、株式会社サンフローラ、松成一市、宮脇勉、江島繁夫税理士事務所、香川県冷凍空調設備工業協会、信光寺、北原秋夫、「元型物語寄贈プロジェクト事務局」児童文学作家久坂七夕、広瀬石油株式会社、坂本トシノブ、竹下和弘、山口剛、三好幸生、匿名の方々

（招待・慰問）

さらスポーツクラブ、六車健、弘恩苑、法寿苑、香色苑、香川県露店商業協同組合、専光寺、日赤奉仕団仲南支部、無名会、「庵治町小さな親切」運動、四国電力労働組合香川県本部、和食レストラン和幸細井香、ワールドメイト、高松市赤十字奉仕団、長崎第二地区民生委員児童委員協議会、小豆更生保護女性会、東町本若、総本山善通寺、三菱東京UFJ銀行、岡山放送株式会社、ドリームサーカス株式会社、香川オリーブガイナーズ球団株式会社、中西嘉子、ときわ会、若葉保育園

（ボランティア）

アクセント、平和祈念活動部風騎会、学習ボランティアの皆様、香川県立高松東高校読み聞かせボランティア、香川県理容生活衛生同業組合高松支部理容ボランティアグループ、社団法人ビルメンテナンス協会、笠井真一郎、新谷富子、環境ボランティアの皆様、他のボランティアの皆様

※ 個人名・グループ名・会社名など、順不同で掲載させていただいています。

平成 28 年度 事業活動計算書

自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 29 年 3 月 31 日 (単位: 円)

貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日現在 (単位: 円)

勘定科目	決算額
児童福祉事業収益	
措置費収益	241,405,070
その他の事業収益	7,331,550
経常経費寄附金収益	1,804,202
サービス活動収益計①	250,540,822
人件費支出	147,009,329
事業費支出	44,245,220
事務費支出	37,336,276
減価償却費	13,630,805
国庫積立金特別積立金取崩額	-8,492,653
サービス活動費用計②	233,728,977
サービス活動増減差額③ (①-②)	16,811,845
サービス活動外収益計④	2,121,581
サービス活動外費用計⑤	0
事業活動外収支差額⑥ (④-⑤)	2,121,581
経常増減差額⑦ (③+⑥)	18,933,426
特別収益計⑧	1,541,000
特別費用計⑨	3,564,772
特別増減差額⑩ (⑧-⑨)	-2,023,772
当期活動増減差額合計⑪ (⑦+⑩)	16,909,654
前期繰越活動増減差額⑫	132,926,101
当期末繰越活動増減差額⑬ (⑪+⑫)	149,835,755
その他積立金取崩額⑭	20,200,000
その他積立金積立額⑮	33,500,000
次期繰越活動増減差額⑯ (⑬+⑭-⑮)	136,535,755

資産の部	
流動資産	73,688,155
固定資産	598,555,397
基本財産	487,796,347
その他の固定資産	110,759,050
資産の部合計	672,243,552
負債の部	
流動負債	6,562,599
固定負債	8,508,113
負債の部合計	15,070,712
純資産の部	
基本金	324,686,000
国庫補助金等特別積立金	106,151,085
その他の積立金	89,800,000
次期繰越活動増減差額	136,535,755
純資産の部合計	657,172,840
負債及び純資産の部合計	672,243,552

がくえんファームだより



今年も公立高校の國木先生による、日々たゆまぬ無償のボランティアにより、季節ごとにおいしい野菜をたくさん収穫することができました。幼児は甘いスイカや顔より大きなサツマイモにびっくり！秋には子ども達総出の芋ほり大会や枝豆収穫も素敵な思い出です。國木先生、寒い冬も暑い夏も学園ファームの野菜たちのお世話をさせて頂いて本当にありがとうございます。感謝！ 感謝！

～後援会員募集～

讃岐学園後援会は、子どもたちの安心・安全な生活を物心両面で支援しています。未来ある子どもたちが、笑顔あふれる、充実した生活が送れますよう、皆様のお力添えをお願いします。

年会費 法人会員 1口5,000円 個人会員 1口2,000円

○ゆうちょ銀行 01650-2-5168 <口座名>讃岐学園

○百十四銀行本店営業部 普通預金0119413

<口座名>社会福祉法人弘善会児童養護施設讃岐学園後援会事務局長 藤井 敏孝

※銀行振り込みの際は御氏名のみ標記されます。領収書等必要な方はお手数ですが学園事務までご連絡いただけますようお願い申し上げます



編集後記

編集を終えて・・・今年度より年2回の発行になりました。一つ一つ子ども達の様子を丁寧に伝えられるよう心込めて作成させて頂きたいと思います。今回、子ども達と過ごした一年を振り返り、日々の大切さを感じました。これからも何気ない日々を子ども達と大事に過ごしていきたいと思います。学園新聞編集担当